赤十字へのご支援・ご協力ありがとうございます

令和７年度 皆さまからのご寄付で実施した主な活動と支出状況

防災・減災意識の向上

地域の防災・減災意識の向上を図る「赤十字防災セミナー」を県内各地で開催しました。

防災セミナー 90回・3,385人 ｜ **指導者を新たに9人養成**

災害対応力の強化

大規模災害の発生に備え、救護活動に必要な機材を整備し、災害時の即応体制の強化を図りました。

自動ラップ式トイレ 12台 ｜ **車載型業務用無線機 6台** ｜ **災害救護車両 1台**

いのちを守る知識・技術の普及

応急手当やAEDの使い方をはじめ、健康で安心な暮らしに役立つ知識や技術を学ぶ講習会を県内各地で開催しました。

救急法等の講習 685回・13,930人

※ 各詳細は「令和７年度事業報告」に掲載しています。

皆さまの温かいご支援に、心より御礼申し上げます。

日本赤十字社では、令和９年度創立150周年を記念し、全国47都道府県の特色を取り入れた「ご当地ハートラちゃん」を制作。長野県版は、雄大な日本アルプスと登山文化をイメージした「**登山ハートラちゃん**」





防災セミナー（防災教育）

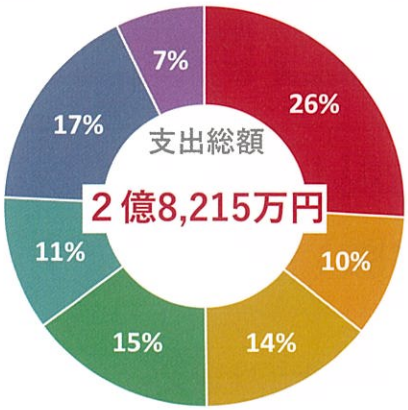


医療救護班研修



救急法講習

令和７年度　支出報告



- いのちを救う活動に **7,298万円**
- 赤十字奉仕団の育成、青少年赤十字活動に **2,782万円**
- 国際活動、赤十字の全国事業に **3,973万円**
- 各市町村の赤十字業の推進に **4,242万円**
- 赤十字思想の普及と会員の増強に **3,065万円**
- 事務管理のために **4,825万円**
- 支部施設の維持管理に **2,030万円**

※ 災害義援金預り金等は除いています。

令和8年熊本地震　日本赤十字社の活動報告

被災された方々のいのちと健康、暮らしを支えるために



避難所を巡回する救護班



避難所の環境改善活動

災害医療チームの派遣状況

（2026年10月1日現在）

医療救護班	災害医療コーディネートチーム	こころのケア班	支部支援要員等
延べ188班	延べ74チーム	延べ51班	延べ89人

赤十字の災害救護活動

■ 医療救護・避難所支援

保健・医療ニーズの把握や巡回診療、被災医療機関の支援、段ボールベッドの展開など避難所の環境改善を行いました。

■ 救援物資の配布

毛布・タオルケット670枚、安眠セット2,244セット、パーテーションなどを届けました。

■ こころのケア

被災された方々の話に耳を傾け、心身の状態や生活環境に応じた支援、情報提供などを行いました。

■ ボランティア活動など

救援物資の搬入、熱中症予防の啓発、義援金募集など、全国各地の赤十字ボランティアが活動しました。

長野県からも災害医療チームを派遣

主な活動

- 避難所での診療
- 健康相談への対応
- 段ボールベッド設置支援
- 保健医療ニーズの把握
- 行政や医療機関との調整







こうした活動は、皆様のご支援により実現しています。
引き続き、赤十字への温かいご協力をお願いいたします。

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 長野県支部
長野市南県町1074 TEL:026-226-2073
日赤長野県支部 検索